

持続可能な木材利用によるネット・ゼロ及び循環経済の実現に向けて

持続可能に経営された森林はその生育の過程で二酸化炭素を吸収し炭素を貯蔵するほか、そうした森林から合法的に伐採された木材を建築物等に利用することで、炭素が長期的に貯蔵されます。加えて、木材は製造・加工時のエネルギー消費がスチールや鉄、コンクリート等他の建築資材よりも少ないことから、材料代替による排出削減にも貢献します。

特に、木造建築によるCO₂排出削減の可能性への期待は大きく、持続可能な森林経営を通じて生産される、再生可能な資源である木材を持続的に利用していくことは、CO₂の排出削減と循環経済の実現に大きく貢献します。

今回のセミナーでは、国際機関や民間セクター、研究機関と協力し、持続可能な森林経営に基づく合法で持続可能な木材利用に関する政策対話や研究、イノベーションを、G7メンバー国のみならずG7メンバー以外の国とともにグローバルに促進していくことを目的としています。

プログラム

開催挨拶

農林水産省 角田 秀穂 農林水産大臣政務官

基調講演「気候変動対策における森林・林産物の役割」

米国イェール大学建築学部教授 アラン・オルガンスキ氏

パネルディスカッション

パネリスト

□ 「マス・ティンバーの活用がもたらす未来」

- カナダ ブリテッシュコロンビア州 雇用・経済開発・イノベーション省
貿易担当副大臣 ジャグループ・ブラル氏

□ 「持続可能な木材をめぐる国際的潮流」

- 国際連合食糧農業機関（FAO）事務局次長 マリア・ヘレナ・セメド氏

□ 「持続可能な森林・木材の利用とイノベーション」

- 国立研究開発法人森林研究・整備機構 森林総合研究所 所長 中静 透氏

□ 「生産国の民間セクターにおける持続可能な木材の展望」

- マレーシア木材協議会 最高執行責任者代理 兼 国際事業開発部門長
タン・ティン・ワイ氏

□ モデレーター

- 国際熱帯木材機関（ITTO）事務局長
シャーム・サックル氏

プロフィール



角田 秀穂 氏 (農林水産大臣政務官)

2022年より農林水産大臣政務官に就任。1985年創価大学法学部卒業後、1986年から1998年まで株式会社水道産業新聞社にて勤務。その後、1999年から2014年にかけて船橋市議会議員を務め、2014年と2021年に計2回衆議院議員に当選。



アラン・オルガンスキ氏 (米国イエール大学建築学部教授)

イエール大学建築学部教授。Gray Organschi Architecture社の共同経営者。Bauhaus Earthのイノベーションラボ「気候回復における林産物の役割 (A Role for Forest Products in Climate Restoration)」所長。『Nature Sustainability』誌に発表した共著科学論文「世界的な吸収源としての建築 (Buildings as a Global Carbon Sink)」は、Aquila Capital Transformation Awardを受賞。著書『炭素：建築設計者のためのフィールドマニュアル (Carbon: A Field Manual for Building Designers)』を2022年にWiley Internationalより刊行。



ジャグルップ・プラル氏
(カナダブリテッシュコロンビア州 雇用・経済開発・イノベーション省 貿易担当副大臣)

サレー選出の州議会議員を2004年から複数回務める。議員総会議長、選挙法条項改正特別委員会 (Special Committee to Review Provisions of the Elections Act) 議長を歴任。インドで哲学修士号、カナダ・マニトバ大学で行政学修士号を取得。



マリア・ヘレナ・セメド氏 (国際連合食糧農業機関 (FAO) 事務局次長)

カーボベルデの経済学者、政治家。同国初の女性大臣。分野横断的な取り組みや戦略的パートナーシップを活用して、FAO加盟国が強靱で効率的、包摂的、持続可能な農業食料システムへ移行するための支援策を強化している。FAOのニジェール代表として、次いでアフリカ地域副代表、西アフリカ・サブリージョナルコーディネーターとして、アフリカで貴重な経験・知見を得た。



中静 透氏 (国立研究開発法人森林研究・整備機構 森林総合研究所 所長)

1985年に林野庁入庁。京都大学生態学研究センター教授、東北大学学術資源研究公開センター植物園長等を経て、国立研究開発法人森林研究・整備機構理事長。専門は植物生態学。熱帯林や温帯林における森林の動き、樹木の生活史、生物多様性が維持されるしくみなどを研究している。



タン・ティン・ワイ氏
(マレーシア木材協議会 最高執行責任者代理 兼 国際事業開発部門長)

マレーシア木材協議会 (MTC) の最高執行責任者代理 兼 国際事業開発部門長。米ノースカロライナ州キャンベル大学卒業。1994年にMTCに入職 (経営情報システム部門)。1997~2012年に公共・企業部門、2012年に中国・広州を担当。



シャーム・サックル氏 (国際熱帯木材機関 (ITTO) 事務局長)

熱帯林政策および木材製品業界で30年近い経験を有し、2021年12月にITTO初の女性事務局長に任命される。ロンドン大学キングスカレッジで会社法・商法の修士号を取得。1993年に英国弁護士資格取得。